

とうきょう すくわくプログラムってなに？

プログラムの詳細は
こちらから▶
(東京都HP)



幼稚園や保育園ですべての乳幼児の
「伸びる・育つ(すくすく)」と「好奇心・探究心(わくわく)」を
応援する幼児教育・保育共通のプログラムです



「すくわくプログラム」を通じて
すべての乳幼児の
心の育ちをサポート

プログラム実施園順次拡大中！

今後も区ではプログラムの実施園を
拡大し、区全体の幼児教育・保育の質
の向上につなげていきます。

令和6年度実施園

区立幼稚園 16園

区立保育園 38園

＋
私立園



自然に触れ、感じる 亀戸第二保育園



伊藤園長

大人の想像を超えてくるこどもたち 公園での経験を持ち帰り探究活動を楽しむ

亀戸第二保育園は、区内の公立園の中では唯一屋上に園庭のある保育園で、他の保育園の園庭のような土や木々はありません。そのため、近隣の公園でさまざまな経験を積んでいます。そこで、こどもは公園で何を体験しているか、こどもにとっての公園とは何なのかを考えて、「公園って？」をテーマに、少人数に分かれて探究活動を行っています。

この日は、「木」を探究対象にしている5歳児クラスから5人が、すぐ近くの公園にやって来ました。まずは、以前に来た時にみんなが目にした大きな木を取り囲むと、「前とは、なんだか違うね」と先生が一言。すっかり葉を落とした木の姿から、こどもたちは季節の移り変わりを知るようになりました。

続いて、木の幹に紙を押し当てて、ミツロウのクレヨンでこすると、木の幹の模様が浮かび上がります。これを園に持ち帰り、水彩絵の具を塗ってはじ

き絵を描くのです。さらに葉っぱ部分を描き加え、以前に写し取っておいた公園の葉っぱを切り抜いて貼り、大きな2本の木の絵を完成させました。この絵は、次の週に行われた発表会で、「ブレーメンの音楽隊」の劇の背景に使われました。

伊藤園長は、「こどもと素材との出会いを大切にするために、環境をシンプルにすることが大切です。こどもたちは、大人の想像を超えてくる行動でいつも驚かせてくれるので、それをサポートすることでさらに探究が深まるように心がけています。そして、少人数だからこそ一人ひとりの声を聴き、その子への理解を深め、職員みんなで必ず共有しています」と、プログラムの効果を実感している様子。本物の木に触れてから、木の絵を描く。夢中になっているこどもたちの姿からは、確かに好奇心やエネルギーが感じられました。

木の手触り覚えている？
ゴツゴツかな。ザラザラかな。／

